

奇才のオフィスに日本のメディアとして初取材！ ドキュメンタリー「ティム・バートの人生を変えたスケッチ」 ナレーションに市村正親が決定！

いよいよ11月22日に開催が迫ったWOWOWの年に一度の大型イベント「TOUCH！WOWOW2014」。六本木で開催中の展覧会「ティム・バートの世界」に合わせ、WOWOWでは11月22日にティム・バートのドキュメンタリーと映画を放送します。

そして、WOWOWシネマで放送するドキュメンタリー「ティム・バートの人生を変えたスケッチ」のナレーションに市村正親さんが決定しました。このドキュメンタリーの直後には、最もティム・バートらしいファンタジーと毒にあふれた映画『ナイトメア・ビフォア・クリスマス』を放送します。その主演ジャック・スケリントンの声と歌を演じたことから、市村さんに番組のナレーションをオファーし、市村さん自身が愛着を持っているキャラクターであることから、快諾いただきました。

その他にも、11月24日(月・休)～28日(金)はティム・バートの初監督作『ヴィンセント』から2012年の『フランケンウィニー』まで、彼の映画世界に浸ることのできる9作品を放送します。

市村正親さんコメント

21年前、ティム・バートン監督の『ナイトメア・ビフォア・クリスマス』の日本語吹替版でジャック・スケリントンの声と歌を演じました。私の息子はこの映画を必ず日本語吹替版で見ますよ。このドキュメンタリーは、バートン監督の人となりがよく分かる、面白い作品です。若い頃に一度挫折した監督が再起していく姿は、見る人を元気にしてくれます。私もWOWOWに加入していますので、放送が楽しみです。



ドキュメンタリー「ティム・バートの人生を変えたスケッチ」
出演／ティム・バートン・ダニー・エルフマンほか

奇才ティム・バートの独特な世界は、そのスケッチに源泉がある。ロンドンにある彼のオフィスを訪ね、スケッチが少年期の孤独を癒したことなどを彼自らが語る特別番組。

■解説

東京・森アーツセンターギャラリーで開催中の展覧会「ティム・バートの世界」。WOWOWが主催するこの展覧会では、映画監督ティム・バートの手によるスケッチ、デッサン、オブジェ、未公開映像作品など約500点が展示されるとあって、大きな話題を呼んでいる。番組では、ティム・バートのオフィスを訪れ、彼の独占インタビューに成功。イギリス・ロンドンにあるオフィスの所在は秘密にされており、取材を許されたのは日本のテレビメディアとして初。その貴重なインタビューとあわせ、展覧会で展示されるイラストも紹介する。

さらに、ティム・バートの盟友とも言える作曲家ダニー・エルフマンに話を聞くほか、『フランケンウィニー』などのパペットを制作した工房を取材。なお、11月22日のイベント「TOUCH！WOWOW2014」のために、ティム・バートンがイラストロスを描き下ろしている。

(下記の番組特設ページで公開中)

■内容

ティム・バートの独特の世界の源泉は、スケッチにある。極度に内気だった少年時代、スケッチが彼の唯一の表現の手段だったと言う。その後、カリフォルニア芸術大学に入学。同級生にはピクサー&ディズニーのCOO、ジョン・ラセターらがいた。そして、ディズニーにアニメーターとして入社するが、ディズニー・アニメーションのタッチにあわせて画を描くのは、大変な苦痛だったと回想する。

ティム・バートンは映画に取りかかる際、まずビジュアルが浮かび、その後それらをどう組み立てるのかを考える。彼のインスピレーションがどう映画になるのか、彼自身が語る。また、作曲家ダニー・エルフマンは、ティム・バートンとのコラボレーションに関する秘話や、不仲と伝えられる時期の真相などを告白。この他、『フランケンウィニー』などのためにパペットを制作した工房では、ティム・バートンがスタッフにどのような指示を出したのかを探る。

■放送情報・番組特設ページ

TOUCH！WOWOW2014 ティム・バートの映画の世界

ドキュメンタリー「ティム・バートの人生を変えたスケッチ」11月22日(土)後2:00

<http://www.wowow.co.jp/touch2014/tim/>



WOWOW

番組リリース

2014.09.26発行 No.2014-3204

トキモノ空リ

ティム・バートの人生を変えたスケッチ

11月22日(土)午後2:00 **WOWOW** ※「TOUCH! WOWOW2014」内で放送

字

奇才ティム・バートの独特な世界は、そのスケッチに源泉がある。ロンドンにある彼のオフィスを訪ね、スケッチが少年期の孤独を癒したことなどを彼自らが語る特別番組。



11月1日より東京・森アーツセンターギャラリーで開催される展覧会「ティム・バートの世界」。WOWOWが主催するこの展覧会では、映画監督ティム・バートの手によるスケッチ、デッサン、オブジェ、未公開映像作品など約500点が展示されるとあって、大きな話題を呼んでいる。番組では、ティム・バートのオフィスを訪れ、彼の独占インタビューに成功。イギリス・ロンドンにあるオフィスの所在は秘密にされており、取材を許されたのは日本のテレビメディアとして初。その貴重なインタビューとあわせ、展覧会で展示されるイラストも紹介する。

さらに、ティム・バートの盟友とも言える作曲家ダニー・エルフマンに話を聞くほか、『フランケンウィニー』などのパペットを制作した工房を取材。なお、11月22日に放送されるイベント「TOUCH! WOWOW2014」のために、ティム・バートンがイラストロゴを描き下ろしている。

<内容>

ティム・バートの独特の世界の源泉は、スケッチにある。極度に内気だった少年時代、スケッチが彼の唯一の表現の手段だったと言う。その後、カリフォルニア芸術大学に入学。同級生にはピクサー&ディズニーのCOO、ジョン・ラセターらがいた。そして、ディズニーにアニメーターとして入社するが、ディズニー・アニメーションのタッチにあわせて画を描くのは、大変な苦痛だったと回想する。

ティム・バートンは映画に取りかかる際、まずビジュアルが浮かび、その後それらをどう組み立てるのかを考える。彼のインスピレーションがどう映画になるのか、彼自身が語る。また、作曲家ダニー・エルフマンは、ティム・バートンとのコラボレーションに関する秘話や、不仲と伝えられる時期の真相などを告白。この他、『フランケンウィニー』などのためにパペットを制作した工房では、ティム・バートンがスタッフにどのような指示を出したのかを探る。

出演:ティム・バートン、ダニー・エルフマン

<関連映画特集>

TOUCH! WOWOW2014 ティム・バートの映画の世界 11月22日(土)~11月28日(金)

『ナイトメア・ビフォア・クリスマス』**字51**

『スウィニー・トッド フリート街の悪魔の理髪師』**字51**

『シザー・ハンズ』**字51**

『バットマン』**字51**

『バットマン リターンズ』**字51**

『フランケンウィニー』**字51**

『ヴァンセント』**字**

『9<ナイン> ~9番目の奇妙な人形~』**字51**

『ティム・バートのコープスプライド』**字51**

※この番組直後に『ナイトメア・ビフォア・クリスマス』(11月22日(土)午後2:30)を放送

●新規・追加登録の方はこちら→<https://prgnews.wowow.co.jp/>

●番組写真・資料のお問い合わせ先: Tel. 03-4330-8155 Fax. 03-4330-8156(情報センター)

*都合により、番組タイトル、内容、放送日時を変更する場合があります。